

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



心ふるえた卒業式！～91人の旅立ち！～

「ありがとうございました」の言葉と共に91人の卒業生が母校・一中を巣立っていきました。自分たちが最も誇りとしてきた「絆合唱」と「全力校歌」を歌うことができないつらさを決して表に出さず、担任の思いに応える「はいっ」「ありがとうございました」の声は、先生・仲間と共に「日本一熱く、絆強き学校」に挑んできた91人らしく、本当に立派でりしい姿そのものでした。遠く離れた場所で病気と闘っている仲間とも毎日リモートを通して班会議や教え合い学習でつながり、当日も仲間に抱えられた画面越しに一緒に壇上で卒業証書を受け取りました。まさに日本一の「一人も取りこぼさない絆」の姿でした。出席が叶わない在校生を代表して執行部11名が参加し、そのバトンを受け取りました。在校生みんなで準備した教室・階段・体育館、磨き上げた校舎からは、これから名門・一中を背負っていく決意が伝わってきます。準備から片づけまで、これだけの思いを込めることができる146人なら、さらに高みを目指していけると確信しています。**無限の可能性に向かって、我らここに挑む！**

地域の皆様、三年間の温かい見守りとご支援誠にありがとうございました。

名門・一中生躍動！～真剣にやっているとある日フッとつながる！～

1・2年生は期末テストに続き、家庭学習強化週間・実力テストに頑張りました。この一年間のつまずきをきちんと振り返る大事なときです。やり直しをどこまで徹底してやれるか。**つまずきを次年度に持ちこさない！**ここからの家庭学習習慣の質を大切にしていきたいと考えています。一月に実施した津久見市学力調査の結果も振り返って、つまずきや苦手の克服に教員一丸となり立ち向かっていきます。一つ一つ苦手に立ち向かっていると、頑張ってもなかなかうまくいかない壁に何度もぶつかる。しかし、**ずっと続けていると、真剣にやっていると、ある日フッとつながる瞬間が訪れる。**この瞬間こそ宝の瞬間。ほんの小さなつながった瞬間でもいい。それが次のもう一つ大きな瞬間につながっていく。**良い習慣は才能を超える！**…そう生徒に伝えているところです。

[津久見市学力調査結果の概略]

【1年】全5教科の「基礎」「活用」で全国平均を上回った。

○特に数学は標準スコア(全国 50)が 57.1。達成率(設定された到達目標をクリアした生徒の割合)も 81.7 と素晴らしい結果。やはり毎日の積み重ねの力は大きい。

○国語・英語の達成率も 78.9 と高い。

○全体的に1年でつけるべき力は順調についている。

●正答率 40%未満のつまずきを各教科で持つ生徒がでてきている。

【2年】5教科中4教科の「基礎」「活用」で全国平均を上回った。

○特に国語は達成率が 80.3 と高く、素晴らしい結果。

○他教科も全体的に安定して力がついている。

●社会の特に「活用」に課題が見られた。数学・英語で二極化の傾向が出てきている。

●正答率 40%未満のつまずきを持つ生徒が各教科で見られる。

※各教科担任と教科部会でより詳しい分析を行い、授業と補充学習で今後つまずきを解消する手立てを講じていきます。

[大分県学力定着状況調査結果の概略] (2年生対象)

○全5教科の「基礎」「活用」で全国平均を上回った。国語・社会・数学・英語は県平均も全て上回り、理科の「知識」のみ県平均にわずかに達しなかった。

○特に国語と英語は全ての領域で全国・県を上回り、素晴らしい結果。

また、第3回英検二次試験3級に5名が挑戦し、見事全員が合格。今年度も多くの一中生が英検にチャレンジ。準2級・3級の取得者も多く出ました。「英検の一中ここにあり！」を存分に見せる活躍でした。嬉しい限りです。また、竹田市

近郊ソフトテニス大会で、準々決勝で優勝校に惜敗したものの、ソフトテニス女子が見事ベスト8。よく頑張りました。そして、空手道競技の2年・工藤真子さん、体操競技の2年・宇都宮巧くんが大分県中学校体育連盟優秀選手表彰者に選出されました。すごいです。今後の一中生の活躍にご期待ください。

3
級

内田葉南・遠藤優翔・田島杏
太郎・藤内天花・古田帆乃花

